

富山県鑿井協会 第15回定期総会



定期総会で挨拶する内山会長（於＝富山第一ホテル）

《平成22年度事業計画》

＜総務部会＞

1. かわら版の発行（年2回7・1月）
2. 安全衛生講習会の実施（7月）
3. ホームページの維持管理
4. 『井戸の日』の啓発活動
5. 水みらいプロジェクト2010事業へ協賛

＜技術部会＞

1. 技術講習会の実施
2. 新エネルギー研修会の開催
3. 水みらいプロジェクト参加校へのアドバイザー支援
4. エコプロジェクトへの取り組み

- 《議案》
- 第1号議案 平成21年度会議実施報告承認の件
 - 第2号議案 平成21年度事業実施報告承認の件
 - 第3号議案 平成21年度収支決算承認及び会計監査実施報告の件
 - 第4号議案 平成22年度会費の額及び徴収方法（案）決定の件
 - 第5号議案 平成22年度事業計画（案）承認の件
 - 第6号議案 平成22年度収支予算（案）承認の件
 - 第7号議案 その他

富山県鑿井協会第十五回（平成二十二年度）定期総会が富山第一ホテルにて平成二十二年五月十三日（木）午後三時より開催された。当日は、七件の議案について審議が行われ、原案通り議決承認された。また、総会終了後には同ホテルにて県庁しごと談義の講演会・その後、懇親会が開催され、会員・賛助会員総勢二十二名の参加があり、親睦を深め合った。

平成22年度役員

会長	内山祐治
副会長	土合拓也
専務理事	土肥勝則
理事	土合一弘
監事	丸田将揮

Ecoフレンド

Vol.24

【発行】平成22年7月
富山県鑿井協会

〒930-0899 富山県新庄町一丁目十九番号
☎（〇七六）四四一・四二五七
Fax（〇七六）四四一・四二八七
URL: <http://www.atw.ne.jp/~tonisaku/>
E-mail: tonisaku@atw.ne.jp

県庁しごと談義

定期総会に引続き、午後四時より富山第一ホテルにおいて富山県土木部道路課の西村友徳氏による「道路除雪及び消雪施設の現状と課題」についての講演会が開かれた。

県道の消雪の延長に対して消雪施設が設置されている割合は富山県が他県よりダントツ一位になっているが、ノズル配管の老朽化が著しくなってきたため今後、対応が課題となっている。平成三年より消雪ハイブリッドシステム事業を実施してきている。また、地下水位が夏期に比べ冬期は消雪施設稼働に伴い低下する傾向にあるため、県では地下水使用の節水や地下水位観察にも取り組んでいる。

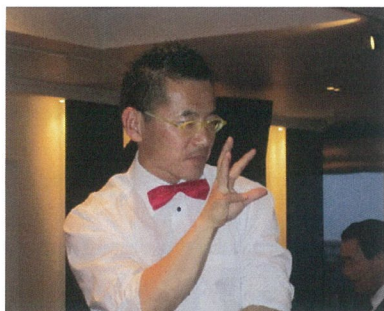
定期総会懇親会



アレマー玉井氏 へんぎん

平成二十二年五月十三日（木）午後五時二十分より、富山第一ホテル十三階ルミエールにて懇親会が開催された。今回は会員・賛助会員総勢二十二名の参加があり親睦を深め合った。

今年度から芸人アレマー玉井氏に顧問をお願いし、当会並びに業界に活力と新風を注いで頂くこととした。



アレマー玉井氏によるマジックショー

『雪と汗のひとかき運動』

目的

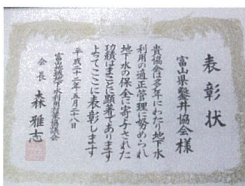
雪と汗のひとかき運動は、県民との協働による除排雪を推進する一環として、交差点などにスコップを置き、地域住民や通行する方々に信号待ちの時間等を利用して雪だまりなどをひとかき除雪してもらおうものである。平成十六年設置当初23箇所だったスコップ設置箇所が、ほとんどの箇所所で利用が確認されたことや、県民からも設置について賛成意見が寄せられたことを踏まえ平成十七年より本格的に設置され平成二十一年度富山県全体で109箇所設置されている。今後は出先機関等からの要望も踏まえ、必要・希望等があれば設置箇所追加を行う。

富山地域地下水利用対策協議会

平成二十二年定期総会報告

平成二十二年五月二十八日（金）午前十時より、富山電気ビル五階にて、平成二十二年富山地域地下水利用対策協議会定期総会が開かれ、地下水保全優良従事者の表彰式にて当協会が表彰を受けました。財団法人とやま環境財団専務理事・富山県地球温暖化防止活動推進センター・センター長 津田伸也氏による『富山の温暖化とエコライフ』の特別講演が行われた。

地下水保全優良従事者として富山県鑿井協会が表彰されました。



お知らせ

当協会が2000年1月10日にスタートしたい〜い井戸の日、今年度は（防災と井戸をテーマとして）11月10日に坂本龍馬 生誕の地、高知県で開催されます。



スコップ設置の写真



講演される西村氏（桂の間にて）

平成二十二年七月八日(木)午後一時三十分より富山県鑿井協会平成二十二年安全大会が開催された。今年度は企業視察と会員企業現場の安全パトロールを目的に全国労働災害防止週間に合わせて実施した。

三豊工業(株)追分工場では、最新技術はもちろんです。振動、騒音、悪臭等の環境対策に万全を期されている工場であることに驚きました。

日本オートリサイクル(株)では、三台の重機で車を解体している。この重機がエンジンではなく電気を使用しているため排ガスが全く出ない。エアバックの解体、フロンガスを抜く作業等の危険作業は業界として安全対策の検討、勉強会を実施されている。手作業では一人二台〜三台だった解体作業が重機を使うことで一日最大14台解体できたという。

安全パトロールでは会員企業の工事現場へ出向き安全パトロールチェックを実施した。



会員企業現場安全パトロールにて



日本オートリサイクル(株)重機を使った解体作業

ポンプで水が出る理由

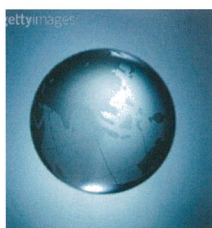
資料提供: 柿柿本商会 竹本覚治 氏

幼い頃、傘をいきよ良く廻すとしぶきが遠くへ飛び散る事を学校帰りの雨の日経験されたと思う。この傘がポンプの羽根車に相当し、廻す手がモータ、エンジンに相当する。

即ち、ポンプ羽根車には有限の羽根があり、この羽根が水の玉をあたかもピッチャーがボールを投げるように、水に遠心力を与え高速流で放り出すことである。ただ、水は連続してあるので玉ではなく連続した流れとなる。

この放り出された水をケーシングに導き速度→圧力エネルギーに変え送水する。

従って、流れてみると遠心力を利用しているので遠心ポンプと呼ばれているが、一般的にはケーシングの形が渦巻状をしていることから渦巻ポンプと呼んでいる。



ポンプの歴史

年代	特 質				
	方式	動力	水量	水位差	用途
BC6000年	つぼ	人力	極小	—	飲水・農事
17世紀	容積式	人力・風車 →蒸気機関	小	1~5m	農事・飲水・炭鉱
18世紀	回転式 うず巻ポンプ	蒸気機関 →モーターエンジン	小~中	高揚化	—
					水道・炭鉱
20世紀	回転式 軸流	モーターエンジン	中~大	小	農事・雨水・排水
昭和30年	回転式斜流	モーターエンジン	中~大	中	下水道・雨水・排水



虹の国 (株)東亜利根ボーリング 金沢営業所 今野 秀己 氏

このかわら版が発行される頃には全てが宴の後となっていますが、南アフリカにてWC杯が開催されます。日本代表の活躍もきっと国中を熱狂させた事でしょう。その南アフリカ初の黒人大統領となったネルソン・マンデラ氏は自国の事を「虹の国」と呼びました。

それは黒人、白人、カラド(日本人を含む)などが雑然と住み、国を形成しているから、と思われていましたが実際にはもう一つの意味があった、といえます。つまり、水源が少なく産業が発達しない不毛の土地に水井戸を掘り、虹を咲かせよう、という強い想いがあったといえます。

人類発祥の地である南アフリカで人類最古・最大のスポーツの祭典が開催されます。その様はまるで虹を咲かせたように綺麗なさまざまな色がTVを通じて世界中に流されています。

人類発祥の地で宗教、人種を超えて一つのスポーツで頂点を目指す大会が開かれる。とても象徴的な出来事だと思います。その場所が本当の意味で「虹の国」として世界の色々な紛争やトラブルを収束させる発祥の地である事を心より願うばかりです。

余談ですが、何かときな臭い情勢が伝わる北朝鮮ですがかの国のサッカーは今回の出場国の中でも一際フェアプレイに徹していますので機会がありましたらご覧になってください。

サッカーはその国の国民性が最も反映されるスポーツです。であれば、かの国の国民がいかにフェアで紳士的かが分かる、というものです。少々驚きですが、そんな事から少しずつでも国家間の敵対心が融和できれば、と思います。

「とやまの水」の第一印象 (株)ホクコク地水 河原 嘉昭 氏

新しく富山へまいりまして、1ヶ月ほどたちますが、とやまの風景、とやまの水の豊富さ・きれいさ・おいしさに驚いております。感じたことを簡単に述べますと、

【初めての感動】5月下旬に初めて富山にきた時、その日は青空で天気良く、北陸自動車道を金沢から、富山西インターを過ぎて奥野丘陵にさしかかり、そろそろ富山かなと思った瞬間、私の目に飛び込んできたのは、圧倒的なスケールで、真っ青な青空の背景のもとに、広大な富山市街地と、神通川の青い川筋と、遠くにまだ白い雪をいただいた立山や剣岳などの北アルプスの山々が遠くに見える「大パノラマ」でした。

私は、石川県の出身で、隣県の富山の事は少しは知っているつもりでしたが、この「大パノラマ」の美しい風景には、大感動いたしました。

【水のきれいさ】県内を回っていると、河川の多いのには驚かされました。河川は水量も多く、水はとてもきれいで、しかし何とんでも河川の匂配がとても急だということです。

特に富山東部の常願寺川、早月川、片貝川等は我が国で数々の急流河川と聞き驚きました。片貝川の水に触れてみると、冷たく・とてもきれいなものですから、思わずすくって口に含みましたがそれがとてもおいしいのです。

【名水百選】昭和60年(1985年)に環境庁が選定した「名水百選(保全状況が良好で地域住民等による保全活動があるもの)」に選ばれた箇所が、なんと全国で一番多い4つ、さらに、平成20年(2008年)には、環境省が選定した「平成の名水百選」にまた4カ所選ばれ、全国で名水200選のうちの、最多の8カ所の名水が富山県にあるということです。

その一つ、「黒部川扇状地湧水部」を訪れて見ました。その中の、黒部市生地では、湧水が普段の生活と、さらに観光と密着しているの聞き驚きました。早速、「ひしゃく」ですくって、飲んでみるとこれがまたとてもおいしいのです。

このような水きれいな、水のおいしい「富山」で仕事ができることを、楽しみにしております。



黒部川扇状地湧水部にて 関ホクコク地水 河原氏



【編集後記】

ゆりの花が綺麗な季節となりました。黄色は見ていると元気が出る色です。黄色いゆりの花言葉は「飾らぬ美」です。 — 総務部会 —

